

798 1870

極秘

陸密第二八四八號

朝鮮出身兵取扱教育ノ参考資料送付ニ關スル件陸軍一般へ通牒

昭和十八年八月十四日

陸軍省副官

昭和十八年八月軍師團參謀長等會同ノ際ニ於ケル兵務局長口演要旨別冊配付スヘキニ付參考トセラレ度通牒ス

陸軍

陸軍省
97
424
4-3

0482

朝鮮出身兵取扱教育ノ参考

一 本參考資料記述ノ目的ハ過去數次ニ亙ル朝鮮軍ノ朝鮮出身特別志願兵教育ノ經驗等ニ鑑ミ本次初メテ特別志願兵ヲ入營セシムヘキ諸部隊竝ニ朝鮮徵兵ニ伴フ朝鮮出身者入營諸部隊ニ於ケル之方取扱教育ノ參考タラシムルニ在リ

二 本參考資料ハ當省一部職員ノ作業ニシテ將來更ニ増補修正ヲ要スヘキモ取敢ス印刷配布ス

三 本參考資料ハ獨立團隊長以上ニ於テ保管シ複寫ヲ禁ス

全 般 的 事 項

一 朝鮮ニ於ケル特別志願兵制及徴兵制ノ施行ハ新附ノ民ヲシテ建軍ノ本義ニ基ク皇國護持ノ大任ヲ直接負荷セシムヘキ皇軍建制上ノ劃期的制度ナルト共ニ一視同仁ノ 聖旨ニ基ク皇民化施策ノ貫徹ヲ具現スヘキ朝鮮統治ノ飛躍的事業ニシテ又正ニ八紘一字ノ大理想ヲ顯現セシムヘキ大東亞民族指導ノ一環トシテ極メテ重要ナル意義ヲ有ス

二 朝鮮人ハ其ノ永年ニ互ル内外ニ關聯スル特種ノ政情ト崇文卑武ノ儒教的傳統トニヨリ内地人ト相異レル思想及性格ヲ生シ其ノ資質ハ皇國臣民トシテハ尙足ラサルモノ多シト雖モ是等シク皇民ニシテ 陛下ノ赤子タルヘキモノニシテ三十餘年ノ統治ニ依リ聖澤彌々民心ニ潤ヒ皇國臣民タラントスルノ意慾ハ澎湃トシテ起リツツアリ

教育指導ニ任スルモノ須ク一視同仁ノ 聖旨ヲ奉戴シ常ニ同胞トシテ之ヲ八紘一字ノ大乘愛ニ包攝シ眞ニ大御稜威ヲ感得シ之ニ歸一セシムルヲ以テ根本ノ理念トセサルヘカラス

三 朝鮮人ノ思想性格ノ弱點ハ放縱不羈ニシテ内地人ノ如キ一貫セル肇國ノ本義ヲ基調トスル道義觀缺如シ精神的依據ヲ有セサルニアリ宜シク其ノ教育指導ノ基調ヲ精神要素ノ涵養就中皇民及皇軍意識ノ透徹ニ置カサルヘカラス即チ民族的對立觀ヲ根柢ヨリ拂拭シテ國家觀念特ニ忠君愛國ノ精神ヲ啓蒙培養シ以テ確乎タル日本人の信念ヲ把握セシムルト共ニ建軍ノ本義特ニ皇軍軍紀ノ貫徹ヲ了得セシメテ軍人タルノ資質ヲ完成セシムルニ全幅ノ努力ヲ致ササルヘカラス

至誠相感應セシムルニ於テハ皇民及皇軍軍人タルヘキ資質ノ陶冶決シテ難事ニアラサルヲ銘記スルヲ要ス

四 朝鮮出身者ニ對シテハ前述ノ趣旨ヲ基調トシ先入主的蔑視觀ト差別的態度ヲ絕對ニ避ケ教育者被教育者共ニ所謂

二
繼母、繼子の關係ニ陥ルヲ戒シメサルヘカラス而シテ教育實施ニ方リテハ朝鮮人ノ一般的思想、性格ノ相違點ヲ索求シテ其ノ實體ヲ把握スルト共ニ個人的特徴ヲ明確ナラシメ而モ之ニ捉ハルコトナク其ノ實質ノ不完ニ對シテハ同情ノ念慮ヲ保持シ且至ラサル子弟ヲ訓化スルノ骨肉ノ至情ニ徹シ常ニ皇民及皇軍人タルノ感激ト誇リトヲ附與シツツ懇切公平ニ教導セサルヘカラス然レトモ其ノ性情ノ特徴ニ鑑ミ寬嚴宜シキヲ制シ斷スヘキハ斷シ諱フヘキハ諱フルト共ニ其ノ長所ヲ活用伸展セシムルニ吝カナルヘカラス

如何ナル場合ニ於テモ競争の對立觀ヲ誘起スルカ如キ指導ハ嚴戒ヲ要ス

五 朝鮮ノ歴史、傳統、風俗、習慣、生活様式、一般民度、思想傾向等ヲ正當ニ理解スルト共ニ學校其ノ他入隊前ニ於ケル教育ノ實狀ヲ把握シコレヲ教育指導上ニ利用スルコト極メテ緊要ナリ而シテ之等事項ノ要點ヲ下級幹部迄徹底セシメ置クコト必要ナルモ此等特質ヲ直チニ内地人の尺度ヲ以テ是非シ或ハ先入主及蔑視觀トナサシメサル如ク注意セサルヘカラス

精神要素ノ涵養ニ關スル事項

六 朝鮮人ノ國家觀、神觀、忠孝觀等ハ儒教的思想ヲ根柢トシ内地人ノ夫レトハ本質的差異ヲ有シ過去ノ教育ニ於テモ多クハ觀念ノ域ニ留リアル程度ナルニ鑑ミ單ニ訓話ヲ以テ說示スルノミナラス皇國及皇軍ノ精華ト特質トヲ不知不識ノ間ニ感得セシムル如ク環境ヲ純化シ萬般ノ施策ヲシテ表裏一貫セシムルト共ニ慈父ノ大愛ヲ滲透シテ速カニ精神的依據ヲ與フルノ一面鞏固嚴格ナル行的修養ト實踐履行ノ中ニ自ラ信念化シ性格化セラルル如ク指導セサルヘカラス

訓話ノ實施ニ方リテハ歴史の素養及國語ノ理解力低調ナルニ鑑ミ特ニ懇切平易ニ說示スルヲ要ス

註

一 皇室及國體ニ關スル訓話ニ對シテハ比較的感激之シク中ニハ第三者の觀點ヨリ批判的態度ニ出ツルモノナシトセス

二 朝鮮在來ノ「神」ハ所謂鬼神ニシテ恐怖心ヲ有スル者多ク神ニ對シ親ミト報恩トラ感スルコト比較的之シ

三 忠孝觀ニ於テ、觀念のニハ「忠孝一致」ヲ理解セシメ得ヘキモ信念ノ域迄向上セス即チ孝ヲ第一義トシ直接的孝養ヲ以テ最高ノ道德ト思惟シアルモノ多ク、從ツテ親ノ事ヲ氣ニ掛クルコト強ク兩親ノ不遇、窮狀ニ際シ精神動搖シ本務ニ精進シ得ザルコトアリ

七 性格上ノ弱點タル事項ニ關シテハ教育訓練、内務等ヲ通シ實地ニ於テ陶冶シ其ノ足ラサルヲ深刻ニ自得セシムルコト緊要ナリ而シテ之カ矯正ニ方リテハ其ノ傳統ノ相異ト道德標準低調ナルトニヨリ知ラスシテ犯シアル事象多キニ鑑ミ機ヲ失セス端的ニコレヲ指摘シテ其ノ非ヲ悟ラシムルト共ニ將來ニ互リ監督ヲ嚴ナラシメ且氣永ニ教導スルコト肝要ナリ

コノ際心情ノ機微ヲ洞察シ卑屈退嬰トナサシメサル如ク諄々トシテ訓戒スルノ注意亦必要ナリ

又一般ニ模倣性強ク教育者ノ一舉手一投足ノ微ニ至ル迄模倣シコレ等ハ直チニ教育ノ成果ニ影響スルコト大ナルニ鑑ミ教育者ノ率先垂範ト共ニ其目的的精神ヲ明確ナラシメ置クノ著意ヲ要ス

八 軍紀、服從心ノ涵養ニツキテハ其ノ本義ヲ十分了得セシメ且恩威併セタル指導ヲ以テ眞ニ教育者ニ傾倒、心服セシムル他面保身の利己觀念、面從腹背、附和雷同等ノ諸性格ノ眞底ヲ看破シ些ノ虛隙ナカラシムルヲ要ス又禮節ニ

關シテハ敬上ノ美點ヲ助長スルヲ要スルモ形式的ニ陷ラシメサル如ク指導スルコト肝要ナリ

九 責任觀念及犧牲的精神ノ陶冶ニ方リテハ功利打算の習性ヨリ發スル短所ヲ深刻ニ矯正スルヲ要ス

コレカ爲外形ヨリモ内實ヲ重視シ表裏一貫セル行動ニ不斷ノ監督ヲ加フルト共ニ諸勤務服行ニ方リテハ特ニ任務ノ附與ヲ單一的確ナラシメ且實行ヲ確認スルノ手段ヲ講スルコト肝要ナリ

一〇 現下ニ於ケル朝鮮人ノ思想的傾向ハ一般ニ中正ニシテ大ナル考慮ノ要ナキト認メラルルモ一部ニ於テハ民族的潜在意識ト自由主義の思潮尙底流シテ敵側ノ謀略ニ乗セラレ易ク就中有識青年ノ思想的傾向トシテ民族的對立觀ニ陷ルモノナキヲ保シ難キモノアルヲ以テ之カ取扱教育ハ特ニ慎重周到ナルヲ要ス而シテコレニ對シテハ同根同祖ノ民族トシテ萬邦無比ナル吾カ國民性ニ同化シ眞ノ日本人タルコトニ於テ初メテ大東亞ノ指導者タリ得ヘク而モ皇國ノ繁榮アリテ初メテ大東亞アルノ眞義ヲ了得セシムルヲ要ス

其ノ他反軍、反國體思想ノ如キモ多クハ對立思想ニ關聯シ感情的ナルヲ以テ其ノ因由スル所ヲ探求シ思惟ノ及ハサル所ヲ教示シ皇國及皇軍ノ本義ヲ感佩セシメテ訓育陶冶ノ全キヲ期スルコト肝要ナリ

如何ナル場合ニ於テモ獨立運動ハ勿論民族的の偏見若クハ對立思想ノ萌芽ヲ認メラルル者ニ對シテモ斷乎處斷スルニ躊躇ナキヲ要ス

内務教育其ノ他ニ關スル事項

一一 朝鮮出身兵ヲ中隊及内務班等ニ配當スルニ方リテハ廣ク内地兵間ニ稀散セシメ郷土的集結配當ハ極力之ヲ避クルヲ要ス

又戦友ノ選定ニハ特ニ意ヲ用フルヲ要ス

一二 内務指導ニ方リテハ風俗、習慣、生活様式等ヨリ來ル習性ノ矯正ニ重點ヲ指向シ特ニ道德標準ノ低調、無知ヨリ來ル缺陷ニ對シテハ眞ノ戦友愛ニ徹シ順ヲ逐ヒテ訓育陶冶セサルヘカラスコレカ爲特ニ内地出身兵ノ指導ヲ事前ニ於テ徹底セシメ些末ノ事項ヲ以テ大局ヲ覆スコトナキ如ク不斷ノ監督ヲ必要トス

又入隊當初ニ於ケル内務教育就中禁教育ハ深刻ニ實施セサルヘカラス特ニ素質劣等者増加スルニ從ヒ極メテ卑近ナル事項ト雖モ勞ヲ厭ハス懇切ニ指導スルコト肝要ナリ

内務指導上一般のニ著意スヘキ事項左ノ如シ

1 言行一致、表裏一貫ノ精神的指導ハ不斷ニ而モ懇切ニ實施スルヲ要ス

コレカ爲實行監督及實行報告ノ勵行ニ著意スルヲ要ス

2 事大、狎狂性ヲ是正シ他面積極進取ノ行動ヲ誘起スル如ク寛猛機宜ヲ得タル指導ヲ必要トス

3 嘘言及盜癖ニ對シテハ現場、現物ニ就テ其ノ缺點ヲ指摘訓戒シ且「ロヨリ實行」ヲ強調徹底スルノ要アリ

註 嘘言及盜癖ハ左程惡シキ事ト考ヘサル習性アリ

4 時間觀念、共同物品ノ尊重ハ其ノ必要ナル所以ヲ知得セシムルト共ニ不斷ノ矯正ヲ必要トス

5 食習慣ノ缺點ハ品性ノ陶冶ト相俟チ漸ヲ以テ慣熟セシムルヲ要ス

註 飲食物ニ對シテハ特ニ關心深ク分配ノ分量、副食物等ニ對シ淡泊ナラス且野外演習等ニ際シ野卑ナル行動ヲ暴露スルコトアリ

6 衛生觀念ノ向上ニ關シテハ當初ヨリ内務ノ課トシテ重視シ過去ノ誤レル生活部面ヲ懇切且徹底的ニ矯正スルコ

ト肝要ナリコノ際其ノ習慣カ宗教的傳統ニ因スルモノアルニ注意スルヲ要ス

7 内地出身兵及朝鮮出身兵相互ノ言語ノ不通、慣習ノ相異、競争心等ヨリ來ル感情ノ對立特ニ私的制裁ハ其ノ絶無ヲ期セサルヘカラスコノ際動機ヲ究明シ民族の對立觀ヨリ來レルモノニ對シテハ公正嚴重ナル處斷ヲ要ス

一三 賞罰ノ行使ハ特ニ公平嚴正ナルヲ要スルモ褒賞ノ實施ニ方リテハ性格上ノ通有的弱點ニ基ク心情ノ機微ヲ洞察スルト共ニ懲戒ニ方リテハ一般ノ軍紀、風紀的見地ノミナラス民族の潜在意識トノ相關ヲ重視シ且懲戒後ノ指導ニ關シ注意スルコト肝要ナリ

一四 言語ノ理解ハ意志疎通及教育徹底ノ根本ナリ是ヲ以テ凡百ノ機會ニ於テ醇正國語ノ指導矯正ニ意ヲ用フルヲ要ス

素質劣等者増加ニ伴ヒ入隊當初特別教育實施ノ要アルヘシ

用語上一般的ニ著意スヘキ事項左ノ如シ

1 國語ノ未習熟、語法ノ過誤或ハ習慣等ノ爲他ニ不快ノ念ヲ抱カシムルカ如キ用語ヲナス場合アルモ接スルモノハ寛大ニシテ眞意ヲ聽クコト必要ナリ

2 朝鮮語ハ單純ニシテ語彙一般ニ狹ク爲ニ國語ノ持ツ眞意ヲ十分ニ了得シ難キモノアルニ鑑ミ特ニ理解シ易キ常用標準語ヲ選擇使用スルト共ニ常ニ吾力眞意ノ了得徹底度ヲ確知スル手段ヲ講スルコト必要ナリ

命令ハ必ス復唱セシムルヲ要ス

註 即答ノ出來サルハ「知ラヌ爲」ノミナラス適切ナル用語ニ迷フ場合ニ起ル現象タルコトアリ

3 朝鮮出身兵相互間ニ於ケル朝鮮語ノ使用ハ嚴禁スルト共ニ手紙等ニ於ケル諺文ノ使用ハ努メテ避ケシムルヲ要ス

ス

4 内地出身兵ノ無批判の朝鮮語ノ濫用及方言、訛言ノ使用ハ嚴重ニ禁止スルヲ要ス

5 「鮮人」ノ語ハ用ヒサルヲ要ス

公文上必要アルモノ以外ニシテ特ニ區別シテ稱呼スル場合ニハ半島(ノ人)(出身者)ノ語ヲ用ユルヲ可トス

又日本人ト朝鮮人トヲ對立セシムルカ如キ使用ハ絕對ニ避ケ内地人ト朝鮮人(又ハ半島人)ト對セシムルヲ要ス

註 「鮮人」ノ語ハ先入主的ニ蔑視ノ意ニ聽ク風アリ但シ朝鮮人ト稱呼スル場合ニ於テモ發言者ノ氣持ヲ十分理

解セシメ置クノ要アルヘシ

一五 身上調査及家庭トノ連絡ハ特ニ密ナルヲ要ス

コノ際朝鮮家族制度ノ特徵ヲ認識シ且一般ニ戶籍調査不備ナルノ實情ニ鑑ミ官公吏就中在郷軍人、學校職員等ト連繫シ真相ノ把握ニ關シ留意スルヲ要ス

一六 年次進ムニ伴ヒ精神狀態ノ變化顯著ナルモノ多ク殊ニ進級等自己ノ意ニ滿タサル場合著シク性格上ノ缺陷ヲ暴露シ若クハ下級者ニ對シ尊大トナリ苛酷、冷情ノ取扱ヲナス傾向アリ

下級幹部トナリタル場合モ亦同様ニシテ自己ノ地位ヲ利用シ權柄トナリ他ヲ壓迫スル等ノ弊アルニ鑑ミ監督ト精神的指導ヲ強化シ特ニ骨肉ノ至情ヲ喚起スル如ク教導シ且賞罰ノ行使ニ留意スルコト緊要ナリ

又在郷軍人トシテノ心得ノ教育ハ十分徹底セシムルヲ要ス

一七 教練其ノ他一般戰技、武技ノ訓練ニ方リテハ特ニ無形的戰鬪諸要素ノ訓練ヲ重視シ忍耐、責任、犧牲、敢爲、積極心等意志力ノ養成ニ努ムルヲ要ス

七

而シテ應用能力ヲ必要トスルモノハ比較的多クノ時間ヲ配當シテ反復、復行シ十分ナル自信ヲ得セシムルヲ要ス
又體格ニ比シ臂力不十分ナルモノ多キヲ以テ入隊當初ヨリコレカ鍛鍊ニ意ヲ用フルヲ要ス

一七 分特業ノ選定ニ方リテハ應用能力ヲ必要トスルモノ及精密技術作業ヲ必要トスルモノニハ其ノ適性ヲ鑑査シテ
充當スルヲ要ス然レトモ性格上分特業ニ於テ好惡甚シク地味ナルヲ嫌フ風アリ

又暗號等防諜ニ關シ特別考慮ノ要アリ

一八 現役下士官、幹部候補生ノ銓衡ニ方リテハ嚴格ナル査定特ニ精神的資質ト家庭ノ事情ヲ考慮シ貧困者ハ努メテ
避クルヲ要ス

而シテ之等幹部ノ教育ニ於テハ思想、性格上ノ弱點ヲ深刻ニ矯正シヨク内地人ノ美點ニ同化融合セシムル如ク指導
スルト共ニ公正ヲ旨トシ十分其ノ實力ヲ發揮セシムルニ留意スルヲ要ス

又事ニ方リ斷乎自己ノ責任ヲ以テ之ヲ處理スルノ決斷力ノ養成ト部下ニ對スル干涉癡ノ矯正トハ教育指導上特ニ注
意ヲ要ス